

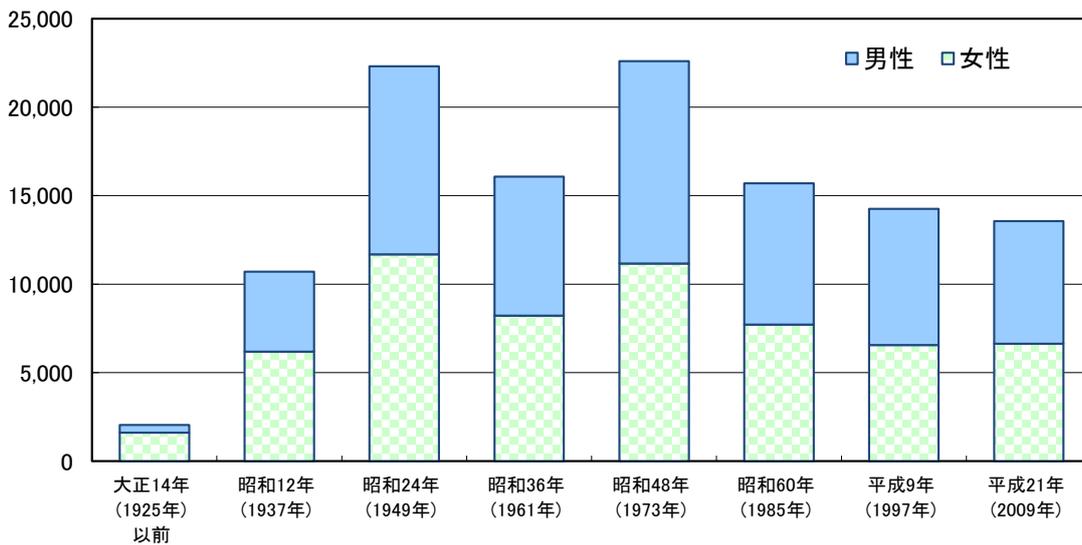
うしどし  
丑年生まれの人口について

このたび、令和3年(2021年)が丑年になることにちなんで、丑年生まれの滋賀県人口について令和2年10月1日現在の滋賀県推計人口により集計しました。

1. 丑年生まれの人口は、117,251人。令和3年中に48歳になる昭和48年(1973年)生まれが最も多い。

◇滋賀県推計人口による丑年生まれの人口は、117,251人。男性57,460人、女性59,791人です。  
男女別では、女性の方がやや上回っています。

◇丑年生まれの人口を生年別でみると、最も多いのは、昭和48年(1973年)生まれ(令和3年中に48歳になる人)で22,601人。次いで、昭和24年(1949年)生まれ(令和3年中に72歳になる人)、昭和36年(1961年)生まれ(令和3年中に60歳になる人)、昭和60年(1985年)生まれ(令和3年中に36歳になる人)となります。



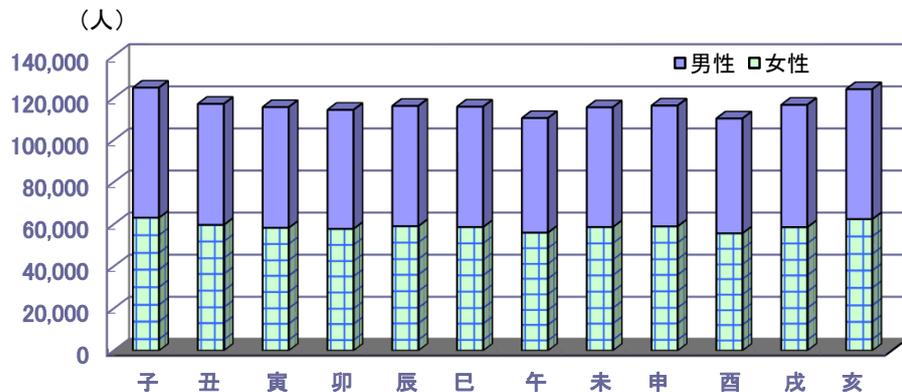
(表1)

生年	性別	総数			男性			女性		
		人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位
総数		117,251	100.0		57,460	100.0		59,791	100.0	
大正14年以前		2,048	1.7	8	433	0.8	8	1,615	2.7	8
昭和12年		10,699	9.1	7	4,515	7.9	7	6,184	10.3	7
昭和24年		22,312	19.0	2	10,621	18.5	2	11,691	19.6	1
昭和36年		16,074	13.7	3	7,847	13.7	4	8,227	13.8	3
昭和48年		22,601	19.3	1	11,428	19.9	1	11,173	18.7	2
昭和60年		15,699	13.4	4	7,982	13.9	3	7,717	12.9	4
平成9年		14,257	12.2	5	7,700	13.4	5	6,557	11.0	6
平成21年		13,561	11.6	6	6,934	12.1	6	6,627	11.1	5

## 2. 十二支別の人口では、丑年は3番目

◇滋賀県推計人口を十二支別にみると、丑年生まれは総数の8.4%を占め、3番目となっています。

◇最も多いのは、子年で124,970人(構成比8.9%)、次いで亥年の124,228人(構成比8.9%)となっています。最も少ないのは、酉年の110,320人(構成比7.9%)となっています。



(表2)

性別 十二支	総 数			男 性			女 性		
	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位	人	構成比 %	順位
総 数	1,398,546	100.0		690,270	100.0		708,276	100.0	
子 (ね)	124,970	8.9	1	61,755	8.9	1	63,215	8.9	1
丑 (うし)	117,251	8.4	3	57,460	8.3	4	59,791	8.4	3
寅 (とら)	115,736	8.3	8	57,335	8.3	6	58,401	8.2	9
卯 (う)	114,410	8.2	10	56,493	8.2	10	57,917	8.2	10
辰 (たつ)	116,294	8.3	6	57,108	8.3	8	59,186	8.4	4
巳 (み)	115,946	8.3	7	57,181	8.3	7	58,765	8.3	6
午 (うま)	110,508	7.9	11	54,386	7.9	12	56,122	7.9	11
未 (ひつじ)	115,619	8.3	9	56,869	8.2	9	58,750	8.3	7
申 (さる)	116,458	8.3	5	57,363	8.3	5	59,095	8.3	5
酉 (とり)	110,320	7.9	12	54,535	7.9	11	55,785	7.9	12
戌 (いぬ)	116,806	8.4	4	58,089	8.4	3	58,717	8.3	8
亥 (い)	124,228	8.9	2	61,696	8.9	2	62,532	8.8	2

- 注) ・ 十二支別の滋賀県人口については、令和2年(2020年)10月1日現在の滋賀県推計人口を使用しています。  
 (表2)の総数(人)には年齢不詳分を含んでいないため、令和2年(2020年)10月1日現在の総人口とは一致しません。  
 ・ 構成比は四捨五入しているため、構成比の計は100%になりません。

### 毎月人口推計調査とは

直近の国勢調査(平成27年国勢調査)に、住民基本台帳法に基づく人口移動状況(出生、死亡、転入、転出等)を合算するもので、5年ごとに実施される国勢調査の間の時点における人口を推計しています。この推計人口は、人や世帯の動きから県の姿を知ることができる大切なデータとして、多種多様な分野で活用されています。